

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学病院では、研究倫理審査委員会の承認を得て、実施機関の長の許可のもとに下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の情報等を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	腹部大動脈ステントグラフト(Lombard社 AORFIX)使用による術後腹部大動脈瘤縮小因子の同定
研究機関名	金沢医科大学病院
研究機関の長	病院長：川原 範夫
研究責任者	金沢医科大学病院 心臓血管外科 坂本 大輔
研究参加拒否 申込受付期間	2026年 10月 1日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までにお願いたします。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2027年 1月 1日
対象者	2019年1月より2025年12月までに金沢医科大学病院心臓血管外科で施行された腹部大動脈瘤に対するステントグラフト留置術256例のうち、Lombard社AORFIXを使用した63例を対象とし、またその63例のうちCTを施行し画像がデータとして残っている患者を対象とします。
当該研究の意義・目的	今回の研究は、当院で腹部大動脈瘤に対してLombard社AORFIXを使用した腹部大動脈瘤ステントグラフト留置術を施行した63例を対象に術後5年までの中長期成績の報告と、術前後のCRPを含めた採血結果、術前後のCTにおける瘤径を測定し、瘤縮小のメカニズムの特定を目指す後ろ向き研究であります。
方法および研究で 利用する試料・情報 の取得方法	本研究は金沢医科大学病院の電子カルテシステムを用いて、該当患者63名のカルテ番号、生年月日、イニシャル、手術前後の採血結果、CT結果を参照しサンプルを作成、統計学的手法を用いて解析を行います。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。
利用又は提供する 外部への試料・情報 の提供	本研究において対象となる患者さんの診療情報の外部への提供はありません。
個人情報の開示に 係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
利益相反について	この研究の計画・実施・報告においては、金沢医科大学利益相反マネジメント規程に則って、適正に行われます。また、この臨床研究にご参加いただくことであなたの権利・利益を損ねることはございません。
資料の閲覧及び研究 対象者等の求め に応じて、研究対 象者が識別される 試料・情報の利用 又は他の研究機関 への提供を停止す	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があります。今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。

る旨について	
問合せ先	その他、この研究に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学病院 心臓血管外科 坂本大輔 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211 内線（68820）

作成日：2026年5月1日